豊中生が資源回収の益金で

町内の保育施設へ物品贈呈

１月30日、豊間根中学校の生徒が豊間根保育園にベビーカー、わかば幼稚園に体重計をそれぞれ贈呈しました。これは、同校が昨年の夏休み中に行った資源回収の益金で購入したものです。贈呈式は各園で行われ、豊間根保育園では、生徒を代表して佐々木歩成生徒会長が「夏休みの資源回収の益金で購入しました。大切に使ってください」と手渡すと、保育園児らは「ありがとうございます。大切に使います」と元気いっぱいの笑顔でお礼を伝えていました。

50年続けた短歌生きがいに

中村トキさんに長寿祝い金

２月６日、田の浜地区の中村トキさんが100歳を迎えました。大正９年に大槌町に生まれ、本町へ嫁いだあと、旦那さんとともに40年間漁業に従事しました。中村さんは、現在までに３回の津波を経験。激動の時代を生き抜いてきました。趣味は50年続けた短歌で、２年前に「いわて震災詩歌2018」へ応募した「地震のあと」は、最優秀賞に選ばれました。７日には佐藤町長が自宅を訪れ、長寿祝い金を贈呈。中村さんは「元気に100歳を迎えることができ、皆さんに感謝しています。」と、謝意を伝えました。

節分祭に多くの人出

今年の無病息災を祈念

２月３日、毎年恒例の山田八幡宮の節分祭が行われました。今年一年の無病息災を祈念することを目的に行われている節分祭。小雨がぱらつく中にもかかわらず、境内には多くの参加者が集まりました。もちろんお目当ては祝いまき。神事が終わると、佐藤町長や各郷土芸能の代表が登場し、豆やお菓子、紅白餅をまきました。福をつかもうと天に向かって大きく手を伸ばす参加者ら。福とともに、袋いっぱいに戦利品を手に入れた子どもたちは、満足気に神社を後にしていました。

メディア機器が与える影響を危惧

小児科医が保護者へ講演

１月31日、保健センターで山田町育児講演会が行われました。講師は小児科医の内田瑛子さんで、長時間のゲームやスマートフォンの利用が、脳や視力に与える悪影響について講演しました。また、基本的な脳の仕組みや神経伝達物質の働きを解説。医学的観点から、肌の触れ合いや運動が体にもたらす良い影響についてなどを、参加した保護者にアドバイスしました。参加者は「話を聞くことができて良かった。メディア機器の利用時間に気を付けたい」と話し、育児の参考としていました。

町のわだい

今月の題字　齊藤　瑛太君（大沢小１年）

「オズの魔法使い」公演

本町の子どもらの熱演光る

２月12日、特定非営利活動法人劇団ゆうが主催するキッズミュージカル「オズの魔法使い」の公演が町中央公民館大ホールで行われました。これは、沿岸部の芸術文化活動の支援を目的に行われているもので、今年で９回目の開催となりました。一般的なミュージカルと違うのは、劇団に所属していない子どもが出演できるところ。子どもらは、１カ月前から稽古に励み、本番では同劇団のメンバーらとともに歌と踊りを披露しました。会場に訪れた約550人の観客は、迫力ある演技やストーリーを楽しんだほか、子どもたちの熱演に目を細めていました。

攻守ともに練習の成果を発揮

白熱したネオホッケー大会

１月25日、第40回山田町B&G海洋センター少年少女ネオホッケー大会が開催されました。大会はB&G海洋センター体育館で行われ、町内の小学生92人が参加し、総勢(男女)13チームが出場。試合は１チーム６人制で、男子の部がトーナメント、女子の部はリーグ戦で行われました。出場した選手らは、全力で走り攻守ともに練習の成果を発揮。白熱した試合の結果、優勝に輝いたのは男女ともに船越小学校でした。男子の部優勝チームの荒川翔君(６年)は「２年連続して船越小でアベック優勝することができて嬉しい」と笑顔を見せていました。